

平成19年度シラバス（国語）

学番89 新潟県立佐渡高等学校

| | | | | | |
|--------|--|-----|-----|----|-----|
| 教科（科目） | 国語（国語総合） | 単位数 | 5単位 | 学年 | 1学年 |
| 使用教科書 | 桐原書店『国語総合』 | | | | |
| 副教材等 | 数研出版『体系古典文法』 桐原書店『漢文必携』 第一学習社『新訂総合国語便覧』 明治書院『現代文学名作選』 | | | | |

1 学習目標

様々な文章を的確に理解し、国語を適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力を伸ばし心情を豊かにする。文章読解を通じて言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

2 指導の重点

- ・様々な文章の内容を正確に読みとり、理解するための基本的な能力の育成を目指す。
- ・基本的な言語事項の習得に重点を置き、語彙を豊かにするための学習活動を工夫する。
- ・古典としての古文と漢文を読むための基本的な能力を養うとともに、古典に親しむ態度を育てる。

3 指導計画

| 学期 | 単元 | 教材 | 主要学習領域 | 学習活動 | 時間 | 評価方法 |
|-----------------|------------|------------------------------------|----------------------|--|----|----------------------------|
| 一学期 中間 考查 | 随想 | 「謎の空白時代」(立花 隆) | 読むこと 書くこと | ・筆者の言いたいこと、論理構成を正確に理解する。 ・読み取ったことを元に、自己を見つめ、考えたことをまとめる。 | 3 | ・定期考查 ・授業の取り組み |
| | 小説 | 「羅生門」 (芥川龍之介) | 読むこと 話すこと 聞くこと | ・主人公の心理の変化を場面ごとに読み取る。 ・作品の主題について各自の意見を発表する。 | 6 | ・定期考查 ・授業の取り組み ・発表 |
| | 古文入門 説話 | 「児のそら寝」 「検非違使忠明のこと」 (宇治拾遺物語) | 読むこと 知識・理解 | ・音読を繰り返し、古文に親しむ態度を養う。 ・古文の仮名遣いや品詞の分類・動詞の活用などの文語のきまりを知る。 | 8 | ・定期考查 ・授業の取り組み ・小テスト |
| 一学期 期末 末考 | 表現 | 「文章を要約する」 | 書くこと | ・文章の内容を的確に捉えて短くまとめる。 | 1 | ・課題文 |
| | 評論 | 「サイボーグとクローン人間」 (山崎正和) | 読むこと 書くこと | ・筆者の言いたいこと、論理構成を正確に理解する。 ・読みとったことを正確にまとめる。 | 4 | ・定期考查 ・授業の取り組み |
| | 古文入門 説話 | 「大江山」 (十訓抄) | 読むこと | ・辞書を使い、自分の力で口語訳を試みる。 | 7 | ・定期考查 ・授業の取り組み |

| | | | | | | |
|---|---|---|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 査 | 随筆 | 「仁和寺にある法師」 (徒然草) | 知識・理解 | ・用言の活用を定着させ、 基本的な助動詞を学ぶ。 | | ・小テスト |
| | 漢文入門 故事 | 訓読に親しむ・ 再読文字・助字・演習 「推敲」(唐詩紀事) 「塞翁馬」(淮南子) | 読むこと ----- 知識・理解 | ・漢文に親しむ態度を養う。 ・音読、朗読に重点を置く。 ----- ・訓読のきまりを学ぶ。 | 8 | ・定期考査 ・授業の取 り組み ・小テスト |
| 考 査 後 ・ 二 学 期 中 間 考 査 | 小説 | 「海の方の子」(山田詠美) 「夢十夜(第一夜・第六夜)」 (夏目漱石) | 読むこと | ・作品に描かれた人物、情 景、心情などを表現に即 して読み味わう。 | 3 | ・定期考査 ・授業の取 り組み |
| | 評論 | 「経済の論理 / 環境の倫理」 (岩井克人) | 読むこと | ・文章の内容を叙述に即し て的確に読み取る。 ・作品全体の、論理構成を 正確に理解する。 | 4 | ・定期考査 ・授業の取 り組み |
| | | | 書くこと | ・読みとったことをまとめ る。 | | |
| | 随想と日記 | 「花は盛りに」(徒然草) 「門出」(土佐日記) | 読むこと | ・辞書を使い、自分の力で 口語訳を試みる。 ・筆者のものの見方、感じ 方を知り、随筆・日記の 世界を味わう。 | 7 | ・定期考査 ・授業の取 り組み |
| | | | 知識・理解 | ・助動詞や助詞を理解する。 | | |
| | 故事 | 「虎威」 | 読むこと | ・話の展開に即して内容を 正確に読みとる。 | 2 | ・定期考査 ・授業の取 り組み |
| 知識・理解 | | | ・訓読のきまり・句法を理 解し、身につける。 | | | |
| 詩文 | 「絶句」「送元二使安西」 「涼州詩」「送友人」 「八月十五日夜、禁中独直、 对月憶元九」 | 読むこと | ・表現を味わう。 ・人物の心情を読み味わう。 | 5 | ・定期考査 ・授業の取 り組み | |
| | | 知識・理解 | ・漢詩のきまりを理解す る。 | | | |
| 二 学 期 期 末 考 査 | 評論 | 「共生とは何か」(鬼頭秀一) | 読むこと | ・論の展開に注目し、主題 を正確に把握する。 | 5 | ・定期考査 ・授業の取 り組み ・意見文 |
| | | | 書くこと | ・筆者の主張をふまえた上 で「共生」という現代的 テーマについて自分の意 見を持つ。 | | |
| 物語 | 「芥川」「東下り」(伊勢物語) | 読むこと | ・作品に描かれた情景、心 情などを読み味わう。 | 8 | ・定期考査 ・授業の取 り組み | |
| | | 知識・理解 | ・助動詞・助詞を理解する。 ・和歌の修辞を理解し、解 釈に生かす。 ・歌物語の性質を知る。 | | | |

| | | | | | | |
|-------------|--------------------------|--|---|---|---|--|
| | 文章 | 「雑説」 (唐宗八家文読本) | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 話の展開に即して内容を正確に読みとる。 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 |
| | 史伝 | 「鶏口牛後」 (十八史略) 「管鮑之交」 (史記) | 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 漢文の表現に親しみ、古代中国の話のおもしろさ、論理展開の巧みさを味わう。 漢文の長文に慣れる。 | | <ul style="list-style-type: none"> り組み |
| 考査後・三学期期末考査 | 詩歌 | 「永訣の朝」 (宮澤賢治) 「短歌十二首」 (与謝野晶子ほか) 「俳句十二句」 (正岡子規ほか) | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 韻文の優れた表現を読み味わい、言語感覚を磨き、心情を豊かにする。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 |
| | | | 書くこと | <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞文を書く。 | | <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞文 |
| | 評論 | 「わかれとうとする姿勢」 (鷲田清一) | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 論の展開に注目し、主題を正確に把握し、評論文の読解力を高める。 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 |
| | 物語 | 「小野の雪」 (伊勢物語) 「木曾の最後」 (平家物語) | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 作品に描かれた当時の社会や人々のありさま、心情などを捉える。 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 小テスト |
| | | | 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 敬語を理解する。 助動詞・助詞の定着を図る。 歌物語・軍記物語など物語の文学史を確認し、その特徴を理解する。 | | |
| | 詩歌 | 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」 | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 作品に描かれた情景、心情などを読み味わう。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 小テスト |
| | | 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 和歌の修辞法について理解する。 | | | |
| | 史伝 | 「臥薪嘗胆」 (十八史略) | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 話の展開に即して内容を正確に読みとる。 漢文の表現に親しみ、古代中国の話のおもしろさ、論理展開の巧みさを味わう。 漢文の長文に慣れる。 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 |
| | | | 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり・句法を身につける。 | | |
| | 論語と孟子 | 「論語」 「孟子」 | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 儒家の考え方、ものの見方を理解する。 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業の取 |
| | | | 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 中国の諸子百家について概要を知る。 | | |
| 考査後 | 俳諧 | 「旅こそ栖」 「平泉懐古」 (奥の細道) | 読むこと | <ul style="list-style-type: none"> 紀行文に描かれた旅の情景や作者の心情などを読み味わう。 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> 授業の取 小テスト |
| | | | 知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> 俳諧・紀行文の特徴を知る。 | | |
| その他 | 定期考査及びその解説 (5回) ... 10 h | | 一斉テスト (2回) 課題テスト (3回) ... 5 h | | | |

4 課題・提出物等

- ・年度初めに月課題の年間スケジュールを示し、主体的な学習リズムを自ら作り出す力を涵養する。
- ・その週の学習内容を中心に、基礎事項を定着させるため「週末課題」を課す。
- ・定期的にノートを提出させ点検する。
- ・副教材を有効に活用し、定期的かつ継続的に、読書の習慣が身につくような課題を与える。

5 評価基準と評価方法

次の5つの観点に立ち、「定期テスト」「一斉・課題テスト」「授業時の学習活動」「課題」等をもとに総合的に評価をする。

| (1)関心・意欲・態度 | (2)話すこと・聞くこと | (3)書くこと | (4)読むこと | (5)知識・理解 |
|---|---|---|--|--|
| 国語や言語文化への関心を深め、国語を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしているか。 | 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしているか。 | 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書いているか。 | 自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。 | 表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字、文学史等を理解し、知識を身に付けているか。 |

6 その他

本校に入学する生徒の多くは、潜在的な能力は高いが、基本的な学習習慣が身に付いていない。国語に関しては、その傾向がますます強く、中学時代に継続的に国語に関する学習をしていた生徒はクラスに数名程度であろう。これらの生徒に、学習習慣を身につけさせることが1年次の大きな目標である。そのために、学習が進めやすく、結果もすぐに現れる古典の学習をペースメーカーにして授業を展開し、「国語は、勉強すれば力が伸びる科目である」という意識を持たせたいと考えている。

また、本校の生徒の弱点として、読書量の少なさが毎年指摘されている。この点についても、課題等を工夫し、改善していきたい。そして、2年生、3年生になってさらに伸びることができるように、この1年間でバランスのとれた基礎学力の確立を図りたい。

科目担当（岩田・日野）